

1. 件名：「日本原燃(株)再処理施設の設工認に関する面談」
2. 日時：令和4年9月29日(木) 15時20分～16時30分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
核燃料施設審査部門
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)
長谷川安全規制管理官、大橋上席安全審査官、中川上席安全審査官、田尻主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、瀬戸川安全審査
専門職
日本原燃株式会社
決得 執行役員 再処理事業部副事業部長(設工認総括、新基準設計)
他7名

5. 要旨

本年9月22日の日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)決得執行役員との面談を踏まえて、再処理施設の設計及び工事の計画の認可の次回以降の審査を合理的に進めるための代表設備の選定方法について、日本原燃の資料をもとに意見交換を行った。

原子力規制庁から、審査を行う上で重要な要素の一つが、類型を踏まえた代表設備の選定ロジックであり、これが適切に説明できなかった場合、手戻りや追加検討が発生し、時間の無駄に繋がる。日本原燃はこれまでこうしたロジックの整理や説明に係る検討が浅く、数多く手戻りが発生してきたため、説明シナリオの検討に力を注ぐことの必要性について説明し、日本原燃と認識を共有した。

次回面談では、説明シナリオの検討状況について意見交換を行うこととなった。

6. その他

提出資料

「類型化イメージ確認用資料」

参考

- ・ 令和4年9月22日 日本原燃(株)再処理施設の設工認に関する面談
<https://www2.nra.go.jp/data/000405332.pdf>